平和が大好き、憲法９条が大好き

生協労連・憲法闘争ニュース

2008年6月30日
第10号
生 協 労 連
電話 03 (3408) 0067
qyg03057@nifty.com

雨にも負けず、風にも負けず
核廃絶の願いを一人ひとりの一歩で

＜コープかごしま労組＞

コープかごしま労組４５人が行進

コープかごしま労組は、鹿児島県内行進（６月１０日～２４日）にのべ４５名が参加し、核兵器廃絶と平和憲法を守り、活かそうと訴えました。

最終日は、出水市役所から熊本県境までの１０Km強のコースに労組から９名参加しました。今年の平和行進は例年になく雨続き、出水のコースも初日同様雨模様の中の行進になりました。鹿児島市内、南薩、大隅、姶良、北薩のコースを１３日かけて歩きました。

熊本のメンバーに無事引き継ぐ

生協労連のリレー旗はこのあと福岡、山口を経て広島までリレーされます。

（コープかごしま労組書記局ニュース）

＜めいきん&みかわ生協労組＞

被爆者の思いも引き継いで

めいきんとみかわの仲間

私は６月３日、知立・刈谷コースを行進しました。ここはめいきん・みかわのエリアが一部重なります。朝からあいにくの雨でしたが、元気よくスタート。みかわの職員は交通整理と昼食準備を行ってきました。

残念ながらこのコースで、被爆者からのあいさつがありませんでした。「体調不良」で辞退されたときました。被爆者集団訴訟で勝利が続きますが、被爆者は「命を削りながら」行動されています。その「命がけ」の集団訴訟の報告を聞きたかったのですが、今の被爆者の現状を物語っています。

私たちはまだ被爆者の「生の声」をきけるチャンスがあります。行進で掲げている原爆の灯のように、私たちも被爆者の思いを引き継ぎたいですね。

（名勤生協労組：野々山大輔）

＜東北地連＞

みやぎ生協労組はのべ２７０人行進

国民平和大行進の太平洋コース。生協労連の旗は、コープあおもり労組→いわて生協労組→みやぎ生協労組→福島生協労組と確実に手渡されています。

６月２２日（日）に雨の中、福島県新地町で宮城県から福島県へタッチされました。みやぎ生協労組では、延べで約２７０名が参加しました。ただいま福島県内を行進中。今週末にはとちぎコープ労組へ引き継がれる予定です。

（「東北のなかま」）

みやぎ生協労組と福島生協労組の仲間

すすむ共同、運動が世論を変える

憲法闘争の発展をめざす第７回全国交流集会に 130 人

全国各地に広がる「九条の会」や、各地で広がる運動によって、「９条改憲反対」の世論が６割まで高まる中、６月 21 日（土）、「第７回憲法闘争の発展をめざす全国交流集会」（東京）が開催され、全国各地から１３０人が参加。交流集会では、①憲法をめぐる情勢と、２０１０年に向けた過半数世論の結集と、過半数署名の推進の意思統一、②全国各地のとりくみの交流、③海外派兵恒久法の問題点を学びました。

今年４月１７日、日本政府によるイラク派兵は、憲法９条違反という判決が名古屋高裁で出されました。特別講演は、イラク派兵差止訴訟弁護団事務局長の川口創弁護士。川口さんの「今回の判決は、『平和』を人権とした意義は大きい。戦争は国家の専権で、戦争が始まれば国内では人権が制限される。戦争では、人権や命を奪われる。人権とは、政府や多数者にも侵されない権利。つまり、判決は少数者が戦争を食い止める可能性を認めた歴史的大転換」というお話が印象的でした。４年に渡るたたかいによる違憲判決。川口さんは、「全国の原告、弁護士、そして平和を願う多くの市民の声が裁判官を動かした」と、地道に声をあげ続けること、運動し続けることの大切さを強調されました。

（渡邉一博）

第 14 回沖縄基地･戦跡めぐりに 58 人

一人でも多くの人、若い人に参加してもらいたい

６月２０～２２日の３日間、生協労連第１４回沖縄基地・戦跡めぐりが行われ、全国から５８人が参加しました。

沖縄はすでに６月 １８日には梅雨があけ、真夏の日差しの中での基地調査、そして沖縄戦の追体験となりました。

ここでは、しずおか生協労組から参加した天野すみえさんの感想を紹介します。

基地の多さにびっくりしました。まさに、美しい島がアメリカ軍に占領され、基地そのものになってしまっているように思えました。

単に沖縄観光に来て遊んで帰っては意味がないと思います。沖縄の置かれている現状をしっかり見て勉強したいと思います。

たくさんの石碑があって、これもびっくりしました。こうして悲惨な歴史の現地に来て見ると実感が沸いてきます。戦争が何の罪もない子どもたちや力のない人たちを最も苦しめることがよくわかります。

改憲して戦争できる国にしようと考えている勢力も強いけど、負けないように平和を望む人たちの声を大きくしたいと思います。本当に勉強になりました。　ガマは怖かったです。

日本の現代史はあまり学校で教えてもらう時間がないので、政治のことはあまりわかりませんが、沖縄に来て、勉強させてもらって、沖縄は今の日米関係の本質をわかりやすく見せてくれているようですし、戦中、戦後の歴史が今もつながっていることを実感させてくれています。沖縄の人たちの平和を願う心の強さを受け止めたいと思いました。

来て良かった。そして、一人でも多くの人に、特に若い人に参加してもらいたい。

嘉手納基地（撮影：大学生協連・小林亘さん）

7．13横須賀大集会

横須賀に集まり平和の声を上げよう！！

会場：横須賀ヴェルニー公園

時間：開場正午・開会午後１時

☆憲法のとりくみ、平和のとりくみの情報を生協労連までお寄せください